熊本市立植木北中学校学校だより　第１４号

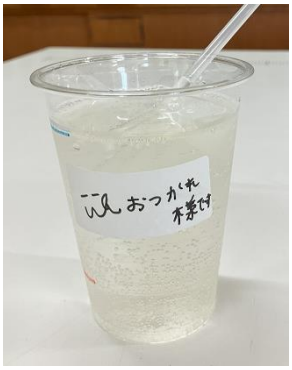
日　進　月　歩

令和７年７月１１日（金）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

夏の風景

例年より梅雨明けが早く、猛暑の日が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。校門前の花畑では、ヒマワリの花が咲き始め、夏の学校を彩ってくれます。朝から挨拶運動のために校門に立っていますが、猛暑の中でも鮮やかに咲き誇るきれいなヒマワリを見ていると心も明るくなります。畑を整備し、種をまいていただいた校区の皆様、本当にありがとうございます。

夏休みまであと一週間となり、教室では夏休みの課題の説明が行われたり、３年生は高校のオープンスクールに参加したりと何かと忙しい日々となっています。そのような中、先日７月１０日（木）３組４組のみなさんが、自分たちで作った「梅ジュース」を販売してくれました。６月にプール横の木から収穫した梅の実を氷砂糖と一緒に容器に入れて３週間熟成して作ったそうです。価格は１杯３０円。ソーダ割、水割どちらかを選択しオーダーすると、３組・４組の子どもたちがドリンクを作ってくれました。カップには「お疲れ様です」のメッセージ付きです。心ものども潤い、午後の業務も頑張ることができました。この活動は生活単元学習、自立活動の一環として行われたものです。また、売上金は畑での作物の栽培に還元されます。３組・４組のみなさん、ごちそうさまでした。



「読み聞かせの会」ありがとうございました。

７月９日（水）に今年度第１回目の「読み聞かせの会」が開催されました。PTA 役員、民生委員さんが朝自習の時間に教室で子どもたちに読み聞かせを行っていただきました。話を聞く子どもたちは絵本や話をしていただくボランティアの人に目が釘付けでした。家族愛や命の大切さをテーマにしたもの、思わず笑ってしまう愉快なものなど様々な本を選書し、子どもたちに読んでいただきました。「読み聞かせ」は、読解力の向上だけでなく、感情の表現や「共感力」の育成に大きな効果があると言われています。また、本の魅力に触れる機会にもつながります。本校の図書室での貸し出し冊数を確認したところ、４月～６月までの３か月間で、１年生は１人平均９冊、２年生１９冊、３年生８冊でした。子どもたちは図書室で本を借り、読書に親しんでいるというのがこのデータから知ることができます。PTA や地域の方をはじめとして、図書室の先生や国語科の先生などが子どもたちに読書の楽しさを話していただいているためだと思います。もうすぐ夏休み。読書をするにはいい機会です。たくさんの本に触れてほしいと思います。